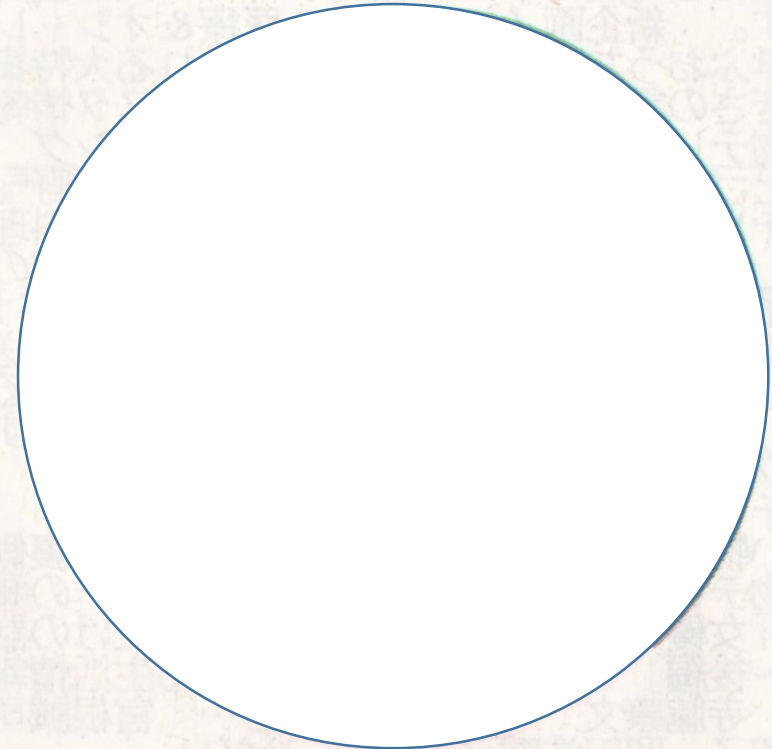


じたん

心が温かくなる種をまこう



佐仁小6年

「暑いからいやだな」最初はそう思った。父から、六月灯の準備の手伝にさせられたのだ。

暑い中、ぶ台を作ったり、電灯をつなげたり、草かりをしたり。本当に大変だった。そんなとき、佐仁青そう年団の方々が、「よく、がんばっているね。ありがとうね。」

「佐仁青そう年団の仲間だね。」

と声をかけてくださった。その言葉に、心が温かくなってくるのをぼくは感じた。

青そう年団の方々がかけてくださった、うれしい言葉のおかげで、ぼくの疲れはふき飛んだ。そして、笑顔でうれしい言葉をかけてくださった青そう年団の方々の心も、きっと温かくなったに違いないと思えた。

うれしい言葉は、綿毛のようにふわふわと広がって、みんなの心を温かくする。この体験を生かして、心が温かくなる種をみんなの心にまく人に、ぼくはなりたいと思った。



令和2年5月21日（木） **あまみ子ども読書・新聞応援プロジェクト**

あまみしんぶん
奄美新聞の3面にのいました。